

フェルメール

資料紹介

17 世紀オランダ美術の黄金時代を代表する画家 **ヨハネス・フェルメール** (1632-1675)。

作品はわずか 30 数点しか現存していませんが、ラピスラズリという岩石を原料とした深い青色の使用などが有名です。京都市美術館で開催の「フェルメールからのラブレター展」にちなみ、当館所蔵のフェルメールと 17 世紀オランダ絵画等に関する資料を紹介します。

🕒 フェルメールの生涯と作品について

『フェルメール論 神話解体の試み』 増補新装版(小林 頼子／著 八坂書房 2008)	723.35/V62(1108704220)
『フェルメールの世界』(小林 頼子／著 日本放送出版協会 1999)	723.35/V62(1106071499)
『フェルメール 謎めいた生涯と全作品』(小林 頼子／著 角川書店 2008)	S/723.35/V62(1108706035)
『もっと知りたいフェルメール 生涯と作品』(小林 頼子／著 東京美術 2007)	723.35/V62(1108706068)
『西洋絵画の巨匠 5 フェルメール』(尾崎 彰宏／著 小学館 2006)	E/723.00/Se19/5(1108353747)
『フェルメール デルフトの眺望』(アンソニー・ベイリー／著 白水社 2002)	723.35/V62(1106975475)
『フェルメール』(小林 頼子ほか／著 六耀社 2000)	723.35/V62(1108706076)
『奇蹟の器 デルフトのフェルメール』(千葉 成夫／著 五柳書院 1994)	723.35/V62(1100024544)
『謎解きフェルメール』(小林 頼子、朽木 ゆり子／著 新潮社 2003)	723.35/V62(1108140714)
『フェルメールのカメラ』(フィリップ・ステッドマン／著 新曜社 2010)	723.35/V62(1108656552)
『フェルメール 窓からの光』(喜多尾 道冬／著 講談社 1985)	723/Ki(1100758919)
『ユリイカ 詩と批評』第 40 巻第 9 号(特集 フェルメール)(青土社)	雑誌 2008 年 8 月
『芸術新潮』第 51 巻第 5 号(特集 フェルメール あるオランダ画家の真実)(新潮社)	雑誌 2000 年 5 月

🕒 フェルメールとその時代の画家たちについて

『フェルメールからのラブレター展』 (博報堂 DY メディアパートナーズ／編 朝日放送 2011)	723.35/V62(1107946574)
『フェルメールとその時代』(アーサー・K.ウィロック Jr. ほか／著 河出書房新社 2000)	E/723.35/V62(1106246265)
『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』(国立新美術館／編 東京新聞 2007)	723.35/V62(1107826750)
『オランダ絵画のイコノロジー』(エディ・デ・ヨング／著 日本放送出版協会 2005)	723.35/J72(1108331701)
『名画への旅 第 14 巻 市民たちの画廊 17 世紀 4』(講談社 1992)	E/723.08/Me24/14(1100281649)
『世界美術大全集 西洋編 第 17 巻 バロック 2』(小学館 1995)	E/708.7/Se22/17(1106162017)
『レンブラントとフェルメール』(岡部 昌幸／著 新人物往来社 2011.3)	723.35/R26(1108683689)
『日常礼讃』(フツヴェタン・トドロフ／著 白水社 2002)	723.35/To18(1107048728)
『眼は聴く』(ポール・クローデル／著 みすず書房 1995)	704/C76(1108706225)
『レンブラント、フェルメールの時代の女性たち』(尾崎 彰宏／著 小学館 2008)	723.35/O96(1108558634)
『名画に描かれた女性たち』(高草 茂／著 ランダムハウス講談社 2008)	723/Ta38(1108566694)
『フェルメールの光とラ・トゥールの焰』(宮下 規久朗／著 小学館 2011)	S/723.05/Mi73(1108711670)
『絵画の読み方』増補改訂版(西岡 文彦／著 洋泉社 1999)	720.79/N86(1106057696)
『ビジュアル美術館 第 14 巻 絵に隠された構図』(p32-33)(同朋舎出版 1996)	708/V82/14(1105924102)
『ビジュアル美術館 第 4 巻 遠近法の技法』(p43)(同朋舎出版 1993)	708/V82/4(1105924037)

盗難や贋作、修復にまつわる話

『盗まれたフェルメール』(朽木 ゆり子／著 新潮社 2000)	720.67/Ku15(1106244401)
『私はフェルメール』(フランク・ウイン／著 ランダムハウス講談社 2007)	723.35/Me16(1108527134)
『ナチ略奪美術品を救え』(ロバート・M.エドゼル／著 白水社 2010)	234.074/E24(1108668177)
『修復の鑑』(アレッシンドロ・コンティ／著 ありな書房 2002)	724.9/C86(1107048678)

フェルメールを題材にした小説や作品鑑賞の旅など

『真珠の耳飾りの少女』(トレイシー・シュヴァリエ／著 白水社 2000)	933.7/C39(1106274986)
『ヒヤシンス・ブルーの少女』(スーザン・ヴリーランド／著 早川書房 2002)	933.7/V86(1107011262)
『フェルメール全点踏破の旅』(朽木 ゆり子／著 集英社 2006)	S/723.35/V62(1108706050)
『恋するフェルメール 36 作品への旅』(有吉 玉青／著 白水社 2007)	723.35/V62(1108704212)
『フェルメール光の王国』(福岡 伸一／著 木楽舎 2011)	723.35/V62(1108712975)

フェルメール作品にまつわるあれこれ

『フェルメールの食卓』(林 綾野／著 講談社 2011)	723.35/V62(1108708114)
『ファッションから名画を読む』カラー版(深井 晃子／著 PHP 研究所 2009)	S/723.5/F71(1108583855)
『ブラウの世界地図』(ジョン・ゴス／著 同朋舎出版 1992)	E/290.38/B52(1104926348)
『図説ギターの歴史』(ペーター・ペフゲン／著 現代ギター社 1997)	763.55/P14(1105098956)
『チェンバロ・フォルテピアノ』(渡辺 順生／著 東京書籍 2000)	763.2/W46(1105931487)
『青の歴史』(ミシェル・パストゥロー／著 筑摩書房 2005)	757.3/P26(1108091701)

オランダの美術館

『NHK 世界美術館紀行 2 ファン・ゴッホ美術館 アムステルダム国立美術館 マウリッツハイ ス美術館』(NHK「世界美術館紀行」取材班／編 日本放送出版協会 2005)	706.9/N71/2(1108085687)
『世界美術の旅 7 ベルギー・オランダ物語』(世界文化社 1988)	E/706.9/Se22/7(1100254380)

17 世紀オランダ 日本とオランダ

『西洋職人図集 17 世紀オランダの日常生活』(ヤン・ライケン／著 小林 頼子／訳著 八坂書房 2001)	384.38/L96(1105921322)
『十七世紀のオランダ人が見た日本』(クレインス フレデリック／著 臨川書店 2010)	210.52/C94(1108644897)
『日蘭交流の歴史を歩く』(KLM オランダ航空ウインドミル編集部／編 NTT 出版 1994)	210.183/KL6(1106180597)
『オランダ共和国』(C.ウィルソン／著 平凡社 1971)	235/W(1101679403)
『日本と和蘭』(日蘭協会編集部／編輯 日蘭協会 1914)	ヨ/961/36(1103404065)

映像 (ビデオや DVD は当館 2 階マルチメディア閲覧室でご覧いただけます)

『世界・美の旅 第 16 巻 フェルメール ～静寂のフェルメール～』(日経映像)	VC/723(1500012008)
『美の巨人たち 11 フェルメール(牛乳を注ぐ女)・ミレー(晩鐘)』(ポニーキャニオン 2002)	DV/723/11(1500080682)
『世界の美術館 華麗なる美の殿堂 アムステルダム国立美術館／ゴッホ美術館／クレラー＝ ミュラー美術館』(インター・カルチャー・クラブ)	DV/706(1500027246)